

区分	該当ページ	意見・理由	修正箇所
修正		ウィズコロナ時代でIT化が進む一方、取り残される人が多いのではないかと感じている。子どもや若い人は適応できるが、高齢者へのフォローが求められる。	「真のIT社会の実現」の前に「高齢者などのデジタル・ディバイド(情報格差)を解消する」を追加
反映	10	人間同士、そして自然とも共存し助け合うことを基本理念としたい。また、この計画の基本的な考え方がどのように私たちの日常生活に繋がっているのかもわかりやすく示すことができればよいと思う。	住民同士や「地域間」、「世代間」、「各団体間」、「事業者間」、「これまで住んでいた住民と転居してきた住民」、「移住外国人・留学生と区民」、「観光客と区民」、「大学と地域」など様々な主体が、互いの情報を共有しながら交流とつながりを促進する。
修正		地場企業はこれからどういう形で地域に貢献すべきかを勉強しているが、一緒に考えてほしい。地場企業がなくなると、防災環境や文化環境も全部変わってしまう。	新たな脅威が発生した場合でも、左京区内の地域に根差した事業者(地域企業等)・職人が地域資源を活かしながら活躍して産業が振興し、新たな仕事が創造されることにより、地域が活性化し、区民の生活基盤が安定して、だれもがいつまでも安心して住み続けられるまちづくりを推進する。
修正	11	「左京愛」についての書き方が足りない。「左京ファン」を拡大するためには、町家等に住んでいる方も、京都の常識を知らない方に対して、上手に伝えていく必要がある。	「左京区の魅力(訪ねる魅力・住む魅力・働く魅力等)を区内外に発信し」を「単に左京区の魅力を一元的に発信するだけでなく、様々な人から引き出した、訪ねる魅力・住む魅力・働く魅力等をきめ細かく区内外へ発信し」に、「国籍に関わらず区民の」を「国籍等に関わらず多様な区民の」に修正
修正		交流人口促進の考え方についても、すぐに観光や移住に結び付けたいと考えてしまうが、まずは左京ファンになってもらうだけでも良いと思う。	「左京ファンを増やして観光、移住や定住を促進させ」を「まずは広く左京ファンを増やすことに重点を置く。その中から観光、移住や定住を促進させ」に修正
修正	18	基本計画の中で「コロナ問題があっても、文化を育むことは祈りである」というような展開はできないか。	【今後の方向性】に「祈りと信仰に由来する伝統行事の本来の意義について考える機会を設ける。」を追加
反映	20	左京区の山間地域と中心部の交流を促進するため、以前から子どもたちの文化芸術活動を実施してきた。現在はコロナ問題の影響で難しいが、将来的には進めていきたい。	自然と歴史を生かした、左京区ならではの新しい文化・芸術の創造と発信に取り組む。
反映		山間地域の人口減少を食い止めるためには、担い手の育成や支え合うことが重要なポイントとなる。	<方向性>「農を活かした魅力創造を図り、定住者の増加を図るとともに、農林業と伝統文化の次代の担い手づくりを行う。」
修正	29	大見地域に住民がいることが確認されたため。	<対象地域>「ただし、大見、尾越には、現在、自治振興会はなく、現住している人も見当たらない。」を「ただし、大見、尾越には、現在、自治振興会はなく、現住している人もわずかである。」に修正
反映		北部山間地域への定住化については、道路改良と交通手段の確保を考えなければならない。	道路改良など交通手段の確保と都市基盤の整備を進める。